

青森県の養鶏場で 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認 (今シーズン国内13例目)

【農場概要】

所在地 青森県横浜町
飼養状況 約12.2万羽(肉用鶏)
疫学関連施設 青森県横浜町(1施設、約0.8万羽)

【経緯】

11月19日 死亡羽数増加の通報を受け、立入検査を実施
簡易検査陽性
11月20日 遺伝子検査の結果、HPAIの疑似患畜を確認

野鳥は1道10県(通算35例)、飼養鳥※は2県2例で確認!
(11月18日時点) ※動物園などで飼育される家きんを除く鳥

**野鳥等を介したウイルスの侵入に
警戒が必要です!!!**

①異状の早期発見・早期通報の徹底

②家きん飼養農場の防鳥ネットの再確認、破損部の修繕

③人・車両・野鳥や野生動物を介した

農場内・家きん舎内へのウイルス侵入防止対策の徹底

④農場周辺の消石灰散布など消毒の徹底、

消毒薬は毎日&汚れたら交換(低温時は濃いめで調整)

過去21日間の平均死亡率の2倍を超える死亡を認める等の
異状があれば、直ちに家畜保健衛生所に連絡を!

岐阜県中央家畜保健衛生所

電話 058-201-0530

時間外・夜間・休日 090-7024-5269

